

コード No.16-NPF-001

提出日：平成29年5月15日

平成28年度「子ども被災者支援基金事業」報告書

一般社団法人子ども被災者支援基金
代表理事 鈴木 理恵

1. プログラムの目的

2015年春から実質的な活動を開始し、1回ではあるが夏の助成事業を実施した。保養の質の向上という大きな目標に向かいつつ、昨年の経験と保養団体との交流や意見交換の中から課題やニーズを見出し、保養団体に対し最も必要なものは助成金だけでなく、研修や情報共有など総合的な支援、いわゆる中間支援であると結論付け、今年度の活動の方向性とした。昨年同様の助成事業に加え、研修会開催を中心とした人材育成事業、課題解決や保養の質の向上に取り組む団体との連携を図るパートナー事業、この3つの事業を柱として活動を行い、各保養団体が実施する保養プログラムの質の向上を図ると共に、保養団体そのもののスキルアップを目指し、保養プログラムの社会的必要性に認知度を高める。そして、各保養団体の活動が福島の子ども達の健全な育成に資するものとなるようにする。

2. 主な活動内容・スケジュール

① パートナー事業

保養プログラムの質の向上を目的に、各保養団体のプログラムの特徴や長所短所を把握すると共に、課題の抽出と解決を図るため、その意思を持つ団体が当団体の支援を優先的に受けられるように、特定の強い関係性を保つようパートナーシップ制度を設けた。

2016年度パートナー団体募集時期

説明会開催：4月23日（東京）24日（大阪）

募集期間：5月30日～6月7日

パートナー登録団体
全国の保養団体15団体

助成金の交付先のモニタリングも兼ね、すべてのパートナー団体の保養の現場を視察し、パートナー団体関係者と意見交換を行った。また、いくつかの団体を抽出し、保養プログラムが終了した後、モニタリングの振り返りを行うため、ファイドバック訪問を実施、その団体が抱える課題について突っ込んだ話し合いができた。

更に、スケジュールの都合もあり、2017年度のパートナー団体の募集は今年度中に行った。

2017年度パートナー団体募集時期

説明会開催：1月21日（岡山、大阪）22日（東京）

募集期間：1月23日～2月13日

パートナー登録団体

2016年から更新 12団体

2017年度新規登録 14団体

計 26団体

② 助成金事業

今年度は一般枠1団体あたり30万円を5団体、交通費補助枠15万円、要配慮者枠40万、合計205万の予算計上を行った。

一般枠については、選考委員会で甲乙つけがたく、一部減額による採択も採り入れ、7団体に対し総額140万の助成となった。そのうち福島から遠方の順に交通費補助として4団体に14万を振り分けプラスアルファとした。各団体のプログラム終了後、配慮を必要とする子どもが参加した場合の追加交付の募集を行い、4団体32万円を支出した。

助成金交付結果

団体名	採択額	交通費補助	要配慮者枠	合計
殿下被災者受入委員会	30万		10万	40万
ウエルカムかさおか	30万	3万		33万
福島の子どもたちとつながる宇部の会	30万	4万	10万	44万
わんぱくチャレンジ広島	20万	3万	6万	29万
特定非営利活動法人えひめ311	10万	4万	6万	20万
東はりまゆるわくキャンプ	10万			10万
吹夢キャンプ	10万			10万
計7団体	140万	14万	32万	186万

③ 人材育成事業

保養プログラムを企画運営するにあたり、これまで管理者・スタッフに対して専門的な研修というのではなくどに行われていなかったと言って良い。そこで、今年初めて保養団体の管理者・スタッフに向けた研修を実施した。助成金の交付先の団体には最低1名の参加を義務づけ、パートナー団体は参加費の優遇、その他パートナー以外の団体にも門戸を開いた。参加団体へはそれぞれ一部交通費補助を行った。

研修会実施日：7月16日（大阪）

参加者 助成団体 7団体 9名（義務づけ）

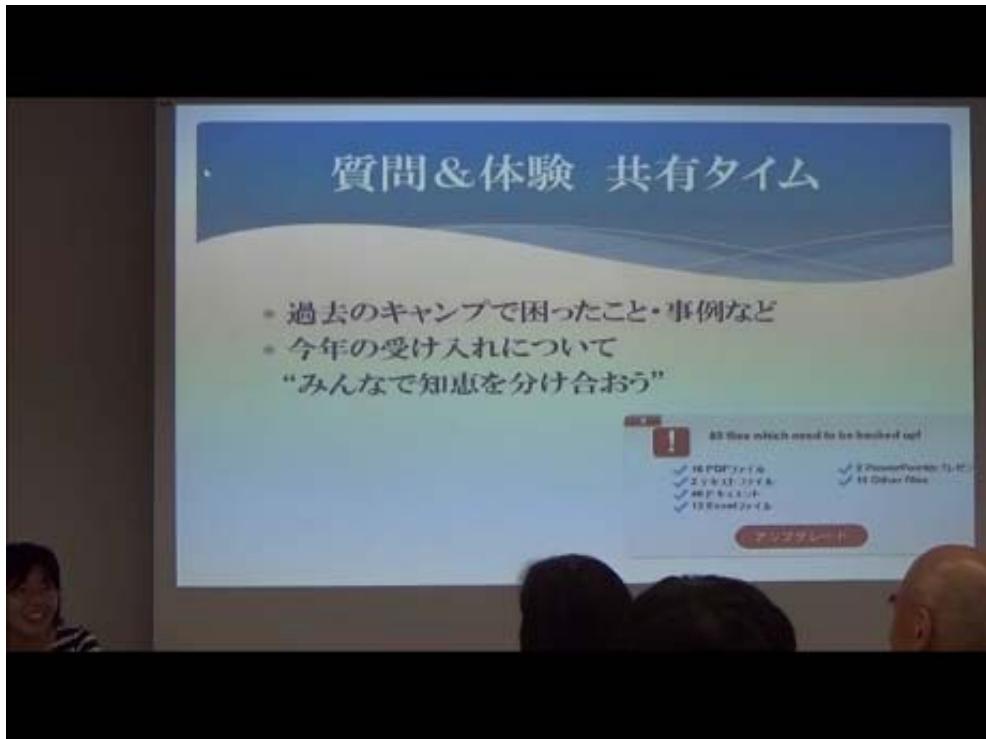
パートナー団体 3団体 4名

一般団体 4団体 5名

計 14団体17名

研修内容：子どもへの対応、助成金申請のコツ、危険予知トレーニング、保養と法律関係

3. 助成を受けた活動の報告（様子がわかる写真等があれば貼付してください）



保養団体の管理者・スタッフ向けの研修会の様子 7月16日（大阪）



プログラム開催中にモニタリングのため訪問 8月4日東はりまゆるわくキャンプ

4. 活動の成果（成果物などがありましたらご紹介ください）

助成金の効果

採択総数 : 7団体
 参加者総数 : 180人 (子ども156人保護者24人内要配慮者16名)
 事業費総額 : 8, 039, 613円
 助成金合計 : 1, 860, 000円
 参加費徴収額 : 1, 370, 500円
 総事業費に占める当基金の割合
 : 平均 23. 14%
 総事業費に占める参加者負担の割合
 : 平均 17. 05%
 参加者一人当たりの事業費
 : 平均 44, 665円
 参加者一人当たりの参加費
 : 平均 7, 614円
 参加者一人当たりの助成額
 : 平均 10, 333円
 要配慮者の参加人数
 : 17名 うち追加交付申請16名分
 プログラムの平均宿泊日数
 : 6. 4日

昨年との比較

項目	2015年夏	2016年夏
採択団体数	14団体	7団体
参加人数 子ども	357人	156人
参加人数 保護者	115人	24人
事業費総額	17, 607, 313円	8, 039, 613円
助成金合計	3, 999, 940円	1, 860, 000円
参加費徴収額	3, 922, 800円	1, 370, 500円
総事業費に占める当基金の割合 (平均)	22. 72%	23. 14%
総事業費に占める参加者負担の割合 (平均)	22. 28%	17. 05%
参加者一人当たりの事業費 (平均)	49, 320円	44, 665円
参加者一人当たりの参加費 (平均)	8, 311円	7, 614円
参加者一人当たりの助成額 (平均)	11, 204円	10, 333円
要配慮者の参加人数	11人	16名
プログラムの平均宿泊日数	6. 3日	6. 4日

昨年と助成額が違うため、採択団体数や受益対象となった子どもの数は違うが、事業に占める当基金の割合や、参加者負担の割合、参加者一人当たりの助成額は大きな違いは無く、ほぼ同レベルであったと考えられる。しかし、配慮を必要とする子どもの参加数が伸び、保養に参加しにくい子ども達が少しでも多く保養に参加できる機会を作るきっかけに繋がったと考えている。

5. 今後の課題

- ・助成金支出については合同開催先の採択の条件整備
- ・人材育成事業を研修事業に改変、更なる学ぶ機会の創出
- ・自主財源の確保
- ・事務局スタッフの増強
- ・事務局スタッフの更なるスキルアップ
- ・保養参加希望者と保養団体とのマッチングシステムの実現

以上